

病害虫発生予察注意報第2号

令和5年8月24日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウが多い状況です。早期発見・早期防除に努めましょう。

- 1 対象作物：ダイズ、野菜類(アブラナ科野菜、イチゴなど)
- 2 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
- 3 発生地域：県内全域
- 4 発生時期：8月下旬～10月下旬
- 5 予想発生量：多
- 6 注意報発令の根拠

(1) 県予察圃(松阪市嬉野川北町)におけるフェロモントラップ誘殺数は、7月第4半旬～8月第3半旬では1,198頭(平年421頭)と多い状況です(図)。
(2) ダイズの巡回調査圃場(8月第1～2週)では、葉食害度0.75(平年0.26)、1a当たり白変か所数0.85か所(平年0.48か所)と多い状況です。
(3) ハスモンヨトウの誘殺数は、例年9月中旬～10月中旬頃に最多となります(図)。そのため、今後の発生量の増加が予想されます。

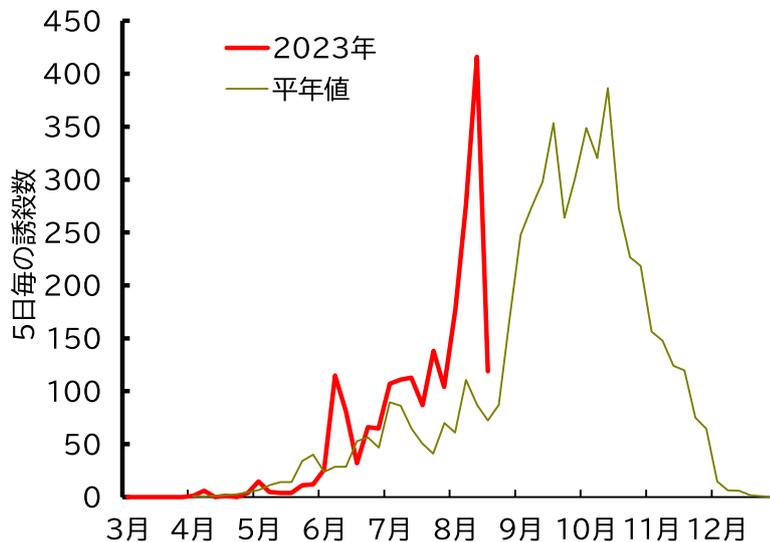


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所：松阪市嬉野川北町)

7 防除上の注意事項

- (1) こまめに圃場を見回り、卵塊や白変葉を目印にして若齢幼虫が分散する前に捕殺してください。
- (2) 薬剤防除の場合は幼虫が大きくなると薬剤の効果が低下します。若齢のうちに防除してください。
- (3) 薬剤は葉裏にかかるようにていねいに散布してください。

- (4) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (5) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)
- (6) ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。(<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。